

DX推進の取り組み について

2026 JUNE

協同組合EPR



取り組みの内容

Details of The Initiative

経営理念

DX共有ビジョン

DX基本方針

現状の課題・3つのDX戦略

DX推進体制

DX人材の育成 DXを推進するための環境整備

DX戦略推進 達成度指標

実施ロードマップ

情報セキュリティ基本方針

代表メッセージ

経営理念

Corporate Philosophy

協同組合EPRは、地方企業と外国人材の架け橋となり、多文化共生社会を実現し、職員の成長とともに、地域の未来に貢献します。

DX共有ビジョン

Our Shared DX Vision

限られた人数で、最大のサポートを！

DXで人材の架け橋の基盤を強固にし、持続可能な
「共生社会」を創り出す

- ①少数精鋭体制によるサポート品質の最大化
- ②業務基盤のデジタル化による組織改革
- ③真の共生社会を実現する架け橋となる

DX基本方針

Basic DX Policy

人の温かみとデジタルの力を融合し、地方の産業を人材の面から支え、地域社会の発展に貢献する。

- ・デジタル化で「人にしかできないサポート」を最大化し、手厚い支援に注力します。
- ・人材の定着率を高め、人手不足に悩む地方企業の持続的な事業成長を強力に後押しします。

協同組合EPR 現状の課題 Current Challenges

慢性的なリソース・経験不足

小規模な組織体制のため職員数が限られており、十分な経験やノウハウを持つ人材が不足している状態にある。

突発的なトラブルによる業務逼迫（ひっばく）

日常的に何らかのイレギュラー対応（事件）が発生しており、その対応に追われて常に現場が慌ただしい状況となっている。

アナログ作業（手書き業務）の残存

手書きを要する業務工程が依然として残っており、現状のフローではそれらを完全に撤廃することが困難な状況にある。

データの属人化と分散

各職員が独自のフォーマットでデータを作成・管理しているケースがあり、情報の一元化がなされていない。

特定担当者への依存と情報共有漏れ

外国人材とのコミュニケーション業務が一部の担当者に偏重（依存）しており、結果としてチーム内での情報共有漏れが頻発している。



3つのDX戦略 3 Core DX Strategies

①外国人・組合員（個人・企業）・職員間のコミュニケーションを 活性化する。

==>コミュニケーションツールを活用し、外国人材ひとりひとりとの個別コミュニケーションを増加させ、時間・場所を問わずつながれる環境を構築する

②職員の生産性の向上

==>AIツールを活用する。（Gemini pro, NotobookLM）
ペーパーレス化（紙ベース業務の撤廃）
データの一元管理を実施する（Access、Python）

③デジタル人材を育成する

==>ITリテラシー評価基準の策定
DX推進リーダー育成 Python及びAccessの開発者
外部IT研修の受講による全職員のITスキル強化を図る

DX推進体制

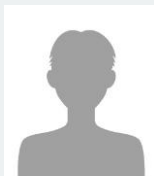
DX Promotion Structure

代表理事

DX推進責任者

監理支援職員

DX推進サポーター



監理支援職員

DX推進サポーター



統括マネージャー

DX推進チームリーダー



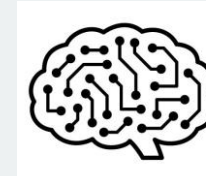
総務・経理職員

DX推進サブリーダー



AI職員

DX推進の強力なサポーター



DX人材の育成・DXを推進するための環境整備

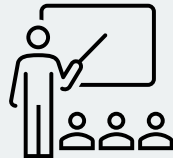
DX Environment Setup



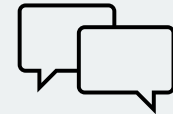
DX人材の育成

- ① **DX推進**リーダーを選抜し育成
- ② 職員全員の I T スキルマップの作成および可視化
- ③ 積極的 I T 情報の収集と共有

DX戦略推進に向けた外部組織との協業
全職員の外部研修参加による
IT知識の習得



DXを**推進**するた めの環境整備



- ① 生成AIツールの導入(Gemini pro ,NotebookLM)
- ② Microsoft Accessによるデータ管理
- ③ GoogleWorkspaceのアイテムフル活用
- ④ 外国人・企業と当組合（EPR）をつなぐ
コミュニケーションツールの導入（外国人材との個別
接点の強化）
- ⑤ 事務作業のデジタル化&自動化
勤怠管理ソフト・Pythonの導入

DX戦略推進 達成度指標 DX KPIs

項目	現状	目標値	達成期限	確認方法
コミュニケーションツールの活用（情報配信回数及び外国人材との個別コミュニケーション回数）	記録なし	月間投稿数 2 回以上 外国人材との個別コミュニケーション回数（外国人材の6割以上）	End of MAR 2028	コミュニケーションツール管理画面ログ
書類作成（リードタイム）	平均30日	平均21日（30%短縮）	End of MAR 2028	タスク管理ツール
AIツール・デジタル化活用状況	未導入	対象業務の30%をデジタル化	End of MAR 2028	業務フロー確認
外部研修参加者数	2名/年	4名/年	End of MAR 2028	研修修了書
スキルマップ達成度	未測定	全職員50%達成	End of MAR 2028	スキルマップ集計表
組合員数（新規加入）	1社	2年間で3社増加	End of MAR 2028	組合員名簿の増減確認
DX枠組み評価（IPA定性指標）	Level 1	Level 3	End of MAR 2028	年度末の自己評価シート Level 0 ～ 5 の6段階で評価

- ①外国人・組合員（個人・企業）職員間のコミュニケーションを活性化する
- ②職員の生産性向上
- ③デジタル人材を育成する

実施ロードマップ°

Implementation Roadmap

26 Aug	Sep	Nov	27 Jan	Mar	Jun	Dec	28 Jan	Mar	Jul
毎月 2 回以上の情報配信 及び外国人材ひとりひとりへの個別返信を行う									
業務改善会議	勤怠ソフト導入			Review 業務改善 及びCT回数	Pythonの 導入	システム のReview		Review 業務改善及び CT回数	
DX推進リーダー MS Access開発・学習 及び Pythonの学習									
				組合員の 数確認				組合員の数確認	
				DX評価				DX評価	
スキル マップ 作成				スキル Review				スキルReview	
		外部研修			外部研修		外部 研修		

* CT回数---コミュニケーションツールの略

情報セキュリティ基本方針

Basic Information Security Policy

協同組合EPR（以下、当組合）は、組合員からお預かりした、または当組合が保有する情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、組合員およびお客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全組織を挙げて情報セキュリティに取り組みます。

1.代表理事の責任

当組合は、代表理事主導のもと、情報セキュリティの重要性を認識し組織的かつ継続的な管理体制の構築と向上に努めます。

2.組合内体制の整備とルールの徹底

当組合は、情報セキュリティの維持・改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を内部規定として策定・運用します。

3.団体職員の教育と啓発

当組合の団体職員は、情報セキュリティの維持に必要な知識、技術の習得を徹底し、高い意識を持って業務にあたるよう教育を行います。

4.法令及び契約事項の遵守

当組合は、情報セキュリティに関連する法令、国が定める指針、その他の規範、および契約上の義務を遵守します。

5.違反及び事故への対応

当組合は、万が一、情報セキュリティ上の問題や事故が発生した場合には、被害を最小限に抑えるべく迅速に対処し、原因究明と再発防止に全力で取り組みます。



セキュリティ対策自己宣言

制定日：2026年1月19日
協同組合EPR
代表理事 滝 繁治

代表メッセージ

Message from the Representative

深刻化する人材不足への対応

協同組合EPRは、少人数体制によるリソース不足の中、日々の突発的なトラブル対応に追われています。さらに、手書き等のアナログ作業の残存、データの属人化、特定担当者へのコミュニケーション業務の偏重による情報共有漏れなど、多くの業務課題を抱えています。この現状を打破し、急速な少子高齢化や市場環境の劇的な変化に対応していくため、当組合ではデジタル化・IT化を積極的に推進し、業務効率化と外国人材の受け入れ促進を図ります。

そして、IT化によって生み出された時間を最大限に活用し、何よりも外国人・組合員の皆様としっかりと向き合う時間を増やしていく所存です。

今後の展望として

組織学習を通じて各職員のレベルアップを図り、『未来は自分たちで創る』と実感できる、主体性を持ったチーム作りを目指します。

協同組合EPR 代表理事 滝 繁治

